



正しい企業の枠組み

令和8年1月29日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

これらはすべての企業における作業がその高い生産性とともに結果を与えることである。それら正の企業サイクルは、健全な企業経営を与えるものである。

これらはすべての不必要な現実を排除し、企業がその経営における判断において要求する現実の達成を行うことの必要性が存在するものである。

企業が誤りを抱くことは、必ず結果の誤りを生むのです。それらはすべての企業の内容と内実への正しい判断が企業において共有されなくてはならない。

全ての作業は結果に結びつくものであり、それが企業の業績である。それらの効率性が利益性であり、これら正しい企業サイクルの構築は、企業の業績そのものなのである。

また企業において現実を求めるとき、それは必ず自らの企業努力において結果を要求する必要があるのである。

これら企業サイクルの構築は、現実と結果を生むことを求めるものであり、それらは時代性における生産性や効率性の拡大において高い利益性の実現を可能とできるのである。

これら企業の正しい基盤は、常に現実に対する厳しい視点を求め、それらが現実の向上を与えるものである。

企業においては数字は唯一の現実であり、それを求めるためにすべての企業の努力と現実の育成を要求されるのである。

これらは市場原理という舞台における、企業活動と現実の育成は、その内実において、等しい結果を生むこととともに、自己を新たに求めることにおいて新たな現実を育成を求めることは必ず可能なのである。

経営における正しい判断は優れた現実の育成を要求するものであり、それらは正しい視点と判断を企業において求められるものである。